

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134080	高齢者在宅生活支援事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		23,581	22,713		-868
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,073	993		-80
	地方債	0	0		0
	その他	19,200	18,600		-600
	一般財源	3,308	3,120		-188

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送る。

事業開始の背景・経緯

一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しているなか、意思が尊重され自立した暮らしができるように、またその暮らしができるだけ長く継続できるよう支援していく必要がある。

事業概要

- ひとり暮らし高齢者緊急通報体制整備 3,802千円
発作性疾患等により日常生活に注意を要するひとり暮らし高齢者等への緊急通報装置の貸与ほか
- 在宅高齢者生活支援 18,836千円
ひとり暮らし高齢者等に対する簡易な日常生活（草取り、雪払い等）の援助、住宅改造費の補助、高齢者福祉タクシー券の交付、自動消火器・電磁調理器の給付、福祉電話の貸与、見守り機能付き服薬支援装置の貸出、交通手段が不足する地域に居住する高齢者に対し、通院時のタクシー利用料助成
- 寝たきり高齢者生活支援 75千円
在宅の寝たきり高齢者等の衛生・清潔保持のための寝具の洗濯乾燥消毒クリーニング、訪問理美容サービス

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 ひとみ
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

【高齢者在宅生活支援事業費】 22,713千円

1. 【ひとり暮らし高齢者緊急通報体制整備】 3,802千円
 - ①緊急通報装置設置事業…発作性疾患高齢者等への緊急通報装置貸与委託先：ALSOK安心ケアサポート 令和4年度未設置台数70台
【10節】 0千円
【12節】 3,640千円
 - ②高齢者見守り支援ネットワーク事業
市内において宅配業務等により一般家庭を訪問する民間事業者が行うひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等への見守り活動を支援する22箇所の事業者へ見守り事業者ステッカーを配布
【10節】 162千円
2. 在宅高齢者生活支援 18,836千円
 - ①高齢者等住宅改造事業…（県補助 1/2）
【18節】 2,022千円 8件
・補助対象工事費上限65万円 介護保険対象者は、介護保険居宅介護（支援）住宅改修費支給の支給限度基準額（20万円）を対象者の人数分控除
・補助割合2/3 非課税世帯、生活保護世帯は3/3
・補助上限額30万円
 - ②日常生活用具給付貸与事業
【11節】 0千円
【19節】 0千円
 - ③高齢者福祉タクシー券給付事業 委託先：市内19事業所
【19節】 15,086千円 1,598人
1枚100円×利用枚数 150,859枚＝15,085,900円
 - ④服薬支援装置貸与事業
【10節】 0千円
【11節】 99千円
 - ⑤軽度生活援助事業 花巻市シルバー人材センターへ業務委託
【12節】 1,629千円
1,032円×1,578.5時間＝1,629,012円
 - ⑥高齢者通院時交通費助成事業
【19節】 0千円

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134080	高齢者在宅生活支援事業費

事業手法の詳細 2
3. 寝たきり高齢者生活支援 75千円 ①寝具洗濯乾燥消毒サービス事業 委託先：株式会社星光舎 【12節】48千円 11件 4,422円×11件=48,642円 ②訪問理美容サービス事業 委託先：岩手県理容生活衛生同業組合花巻支部 岩手県美容業生活衛生同業組合花巻支部 【12節】27千円 27件

事業手法の詳細 3

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134090	高齢者介護予防対策事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		19,704	26,766		7,062
財 源 内 訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	15,160	16,003		843
	一般財源	4,544	10,763		6,219

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返	<input type="checkbox"/>	期間限定	～
------	-----------------------	-------	--------------------------	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っている。

事業開始の背景・経緯

湯のまちホット交流事業は老人福祉センター事業等の廃止に伴い22年度から開始。高齢者の生きがいづくり又は閉じこもりがちな高齢者へ社会参加の交流の場を提供している。

事業概要

○湯のまちホット交流 26,766千円
市内温泉施設等において、健康増進、介護予防及び交流促進を図る高齢者に対し、無料で入浴を提供

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 ひとみ
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

1. 湯のまちホット交流事業 26,766千円
 【10節】 518千円
 【11節】 26,248千円
 委託先：市内契約温泉施設等23施設
 委託料単価：600円/人（ぶどうの湯、蓬莱湯300円/人）
 【利用者数】 45,323人
 【主な温泉の利用者数】
 1 東和温泉 11,056人
 2 優香苑 6,170人
 3 志戸平温泉 6,044人
 4 金矢温泉 5,596人
 5 花巻温泉 3,817人

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134100	高齢者福祉サービス提供事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		780	758		-22
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	585	568		-17
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	195	190		-5

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標
高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送ることができる。

事業開始の背景・経緯
平成12年施行の介護保険法制度では、法施行前の費用徴収を上回らない措置が採られたが、これに加えて低所得者に対する減免措置について国が事業実施要綱を定めたことにより事業を開始したものである。

事業概要
○介護サービス利用者支援 758千円 介護保険サービス利用者の負担軽減を実施する社会福祉法人への補助 ○ホームヘルプサービス利用者支援 0円 障がい者施策によるサービス利用者が65歳以降介護保険によるサービスに移行した場合に自己負担額の減免を行う訪問介護事業所への補助

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 ひとみ
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
1 介護サービス利用者支援〈社会福祉法人軽減〉 758千円 【市補助金交付】2法人（桐寿会、仁寿会） 【事業内容】 介護サービス利用者負担軽減を実施する社会福祉法人に補助 ・訪問介護、通所介護、短期入所の場合は、社会福祉法人が本来受領すべき利用者負担収入の1%を超える額の1/2 ・介護老人福祉施設の場合は、社会福祉法人が本来受領すべき利用者負担収入の10%を超える場合、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の5.5%を差し引いた額 ・または、軽減額が本来受領すべき利用者負担額の10%以内の場合、軽減額から本来受領すべき利用者負担収入の1%を超える額の1/2 【対象者及び軽減の程度】 ・対象者…市民税世帯非課税であって、生計が困難であると認められる者 ・対象となる費用…サービス利用に係る利用者負担（食費・居住費を含む） ・軽減の程度…利用者負担の1/4（老齢福祉年金受給者は1/2）
2 ホームヘルプサービス利用者支援 0円 【事業内容】 障がい者施策によるサービス利用者が、65歳以降介護保険によるサービスへ移行した場合の、自己負担額の減免に対する補助 【利用実績】 平成21年度以降…対象者 0名 【対象者】 利用者負担が生じた場合、生活保護の受給を要する者

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134110	高齢者福祉サービス基盤整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		168,015	19,329		-148,686
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	159,256	10,581		-148,675
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	8,759	8,748		-11

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送る。

事業開始の背景・経緯

第8期介護保険事業計画における施策目標「介護サービスの充実」に基づき、施設を整備する事業者に補助するものである。

事業概要

- 老人福祉施設建設資金借入償還金補助 8,748千円
老人福祉施設の建設・改築時の借入償還金元利補給 2施設
- 介護施設等整備事業費補助 10,581千円（うち繰越明許費4,191千円）
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業
簡易陰圧装置設置経費支援 2施設（うち繰越1件）
 - ゾーニング環境等整備経費支援 2施設（繰越）

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 ひとみ
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

- 1 老人福祉施設建設資金借入償還金補助 8,748千円
 老人福祉施設の建設・改築時の借入償還金元利補給 2施設
 ・特別養護老人ホームいしどりや荘 7,768,080円
 ・特別養護老人ホーム東和荘 979,768円
- 2 介護施設等整備事業費補助 10,581千円
 新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業 10,581千円（うち繰越明許費4,191千円）
 ・簡易陰圧装置設置経費支援
 特養東和荘 3台 6,390千円
 ショートステイこころ 1台 1,045千円（R3→R4繰越）
 ・ゾーニング環境等整備経費支援（2方向から出入りできる家族面会室整備）
 特養花あかり・花みずき 2施設×1,573千円 3,146千円（R3→R4繰越）

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134120	高齢者交流活動支援事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		24,705	25,431		726
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	24,705	25,431		726

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送る。

事業開始の背景・経緯

老人福祉法第5条に基づく事業展開。敬老会については、高齢者の長寿を祝い高齢者福祉の向上、敬老思想の高揚を図るため、各地域で開催される敬老事業の事業費を補助するもので、合併以前より各市町で取り組まれており、合併後は、社協への事業補助先を統一した経緯がある。

事業概要

○敬老会開催補助事業 23,766千円
 社会福祉協議会を通じた各地域で開催される敬老会経費への補助
 米寿及び百歳到達者、百歳以上の高齢者への記念品贈呈
 ○ふれあいあんしん交流事業補助 1,665千円
 社会福祉協議会のふれあいいきいきサロン事業に対する補助

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 ひとみ
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

高齢者交流活動支援事業費 25,431千円

1. 敬老会事業補助 23,766千円
 【18節】補助金：21,563千円
 【交付先】花巻市社会福祉協議会
 【内容】各地区で開催されている敬老会の開催経費補助
 75歳以上高齢者人口 17,969人×1,200円=21,562,800円
 【7節】報償費：2,203千円
 【内容】記念品贈呈（米寿、百寿、101歳以上長寿者）
 ・米寿 金杯贈呈
 ・百寿 敬老会記念品贈呈
 ・百寿 誕生日祝花記念品贈呈 他に市長メッセージ入り記念品を贈呈
 ・101歳以上 敬老会記念品贈呈

2. ふれあい・あんしん交流事業補助 1,665千円
 【18節】補助金：1,665千円
 【交付先】花巻市社会福祉協議会
 【内容】自分の住む身近な地域で運営される誰もが参加できる地域サロンの設立と持続的な運営が行われるよう事業推進に取り組む。
 サロン設置数(R5.3末)
 ・花巻 124
 ・大迫 21
 ・石鳥谷 50
 ・東和 22
 ・その他 6
 合計 223
 サロン延べ開催回数 4,132回
 サロン延べ参加者数 42,674人

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134130	高齢者社会参加活動支援事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,128	4,924		-204
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	2,447	2,363		-84
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,681	2,561		-120

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標
高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っている。

事業開始の背景・経緯
老人福祉法第13条に基づく事業補助。昭和37年老人福祉法制定以後老人クラブの結成が進み、現在は地域を基盤とした高齢者の自主組織として活動補助金を得ながら、生きがいづくりや健康づくりなどの活動のほか、清掃奉仕などの社会貢献活動など多彩な活動で、地域づくりに寄与する団体となっている。

事業概要
○老人クラブ事業補助金 2,815千円 市内単位老人クラブの事業活動に対する補助 (県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県2/3 市1/3)
○老人クラブ連合会事業補助金 1,709千円 花巻市老人クラブ連合会事業活動に対する補助 (県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県2/3 市1/3) (花巻市老人クラブ連合会事業補助金要領 市単独補助)
○老人クラブ連合会特別活動事業補助金 400千円 花巻市老人クラブ連合会の特別事業活動に対する補助 (県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県2/3 市1/3)
○高齢者生きがい就労創出支援 0千円

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 ひとみ
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
高齢者社会参加活動支援事業 4,924千円
1. 老人クラブ活動事業補助 【18節】補助金：2,815千円 会員数規模による定額補助
11～30人 27,600円×53=1,462,800円 31～50人 28,800円×25= 720,000円 51～60人 32,400円× 9= 291,600円 61～80人 33,600円× 8= 268,800円 81人以上 36,000円× 2= 72,000円 計2,815,200円
県補助分 1,876千円 (県2/3)
2. 老人クラブ連合会事業補助 1,709千円 市老連に対して、均等割分と会員割分および市嵩上分の補助およびバスの借り上げ料
①【13節】バス借上料：0千円 県シルバースポーツ大会中止によりバス借上なし
②【18節】老人クラブ連合会事業補助金：1,709千円 160,000円(均等割) + (3,439人×50円) = 331,950円…A 344,300円(R3県補助基準) × 4 (旧市町支部) = 1,377,200円…B A+B=1,709,150円(補助額) 県補助分 221千円 (A×県2/3)
3. 老人クラブ連合会特別活動事業補助 【18節】市老連の特別活動に対する補助 400千円 県補助分 266千円 (県2/3)
4. 高齢者生きがい就労創出支援事業補助 【18節】 補助金：0千円 地域の多様な経験や資格・能力を持った高齢者の雇用を図り、地域社会の様々なニーズを満たすサービスを有償で提供する事業を新たに起こそうとする団体を対象に立ち上げ経費を補助する。 R4補助団体：0団体

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134140	高齢者保護措置事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		155,125	171,602		16,477
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	31,142	28,947		-2,195
	一般財源	123,983	142,655		18,672

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	~
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標
高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送る。

事業開始の背景・経緯
老人福祉法第2条の基本理念に基づき、環境上の理由及び経済的理由により居宅養護の困難な者を養護老人ホームへ入所させ養護する必要が生じたもの。

事業概要
○養護老人ホームはなまき荘管理運営 133,815千円 はなまき荘の指定管理業務委託他
○高齢者短期入所 0千円 急迫的に保護を必要とする高齢者の短期入所業務委託
○老人保護措置費 37,787千円 養護者不在等在宅生活が困難となった高齢者を施設で養護するための扶助費

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 ひとみ
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

【高齢者保護措置事業】 171,602千円

- 花巻市養護老人ホームはなまき荘管理運営 133,815千円
 養護老人ホーム入所判定委員会の運営、はなまき荘施設修繕計画作成業務委託料、はなまき荘指定管理料
 【7節】 謝礼：36千円
 老人ホーム入所判定委員 4,000円×2人×3回、4,000円×1人×1回
 指定管理者候補選定委員謝礼 4,000円×2人×1回
 【11節】 手数料：4千円
 入所者負担金口座振替手数料 381件×10円×1.1
 【12節】 委託料：133,775千円
 はなまき荘施設修繕計画作成業務委託料 1,518千円
 はなまき荘指定管理料 132,257千円
- 高齢者短期入所 0千円
 高齢者の緊急入所先として養護老人ホームに短期入所委託
 委託先 社会福祉法人 大谷会（はなまき荘）
 社会福祉法人 宝寿会（宝寿荘）
 【12節】 委託料：0千円
 2,400円×7日×0人
- 老人保護措置費 37,787千円
 養護老人ホームに入所措置している対象者に対する生活費、事業費の支弁
 宝寿荘 18人/月
 松寿荘（雫石町）2人/月
 祥風苑（大船渡市）1人/月
 【19節】 老人保護措置費：37,787千円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134160	介護人材確保事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		48	48		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	48	48		0

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～	
------	---	-------	------	---	--

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送ることができる。

事業開始の背景・経緯

介護を必要とする高齢者が増加することが予測される一方で、介護サービス事業所では人材不足が課題となっており、介護人材を安定的に確保する必要がある。

事業概要

○介護人材確保事業補助金 48千円
市内の宿泊を伴う介護サービス事業所等に新卒で就職する者が、継続して勤務している期間における市奨学金の返還に対し、最大60か月、貸付金の1/2を限度として補助
○介護のお仕事セミナー
市内介護事業所に勤務する若手職員チームが講師となり、中学生・高校生を対象に、学校に出向き、介護の仕事やその魅力を紹介するセミナーを開催

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	今井 岳彦
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

介護保険運営協議会では事業所における介護職員が不足しているとの声が挙げられており、人材確保対策が必要との意見が出されている。

事業手法の詳細 1

1. 介護人材確保奨学金返還支援 48千円
令和4年度補助金交付実績 1名 (48千円)

【事業内容】
資格を取得するため、学校等で修学する際に市の奨学金を借り入れ、新たに市内の介護サービス事業所へ就職しようとする方の奨学金返還を支援することで、介護サービス事業所で働く人材の確保と定着を図る。

【対象者】
市内の介護サービス事業所（入所施設等※）又は養護老人ホームで働く職員で、5年以上継続して勤務する予定の人
※特別養護老人ホーム、老人保健施設、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護、短期入所、特定施設入居者生活介護

【対象資格】
介護福祉士、保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

【補助対象】
介護サービス事業所等に勤務している期間における市の奨学金の返還金に対し、最大60か月、貸付額の1/2を限度として補助する。

【考え方の例】
4年制の学校に入学する場合、市の奨学金の貸付額は3万円×48か月＝144万円となる。
補助額は、その1/2にあたる72万円を上限とし60か月間補助する。
(144万円×1/2÷60か月＝12,000円/月) 144,000円/年

【事業費の内訳】
18節 補助金 48千円
(内訳)
＜継続＞R2年度からの対象者3年目 1名
＜新規＞奨学金貸与者で福祉医療系の学校をR4.3月に卒業する見込みの者 3名

【参考】
〈国〉
令和元年10月の消費税率引上げに伴う報酬改定において、介護サービス事業所における勤続年数10年以上の介護福祉士について、月額平均8万円相当の処遇改善を実施。
〈県〉
県が県社協委託により実施。介護福祉士養成施設入学者に対し、修学資金を無利子貸付（月額5万円、入学準備金20万円、就職準備金20万円）。介護福祉士資格取得後、県内の社会福祉施設等に5年間従事した場合は、全額免除。

2. 介護のお仕事セミナー 0円

令和 4 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1*	事業名
介護保険	03	02	01	434300	地域介護予防活動支援事業

単位：千円

		前年度 決算額 (B)	当該年度 決算額 (B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		4,309	4,482		173
財 源 内 訳	国・県	2,779	2,891		112
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,530	1,591		61

※特定財源の内訳

地域支援事業交付金（国25.0%、県12.5%、支払基金27.0%）

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいをもち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

高齢化が進むなか、住み慣れた地域でできる限り自立した生活を送るため、介護予防と日常生活支援に地域で取り組むよう介護保険制度が改正された。

事業概要

○地域介護予防活動支援事業

市内全域に高齢者が容易に通える範囲に通いの場を展開し、住民主体で体操などを行いながら生活機能の向上や介護予防につなげる取り組みを支援する。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 長寿福祉課 担当課長 佐藤ひとみ

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○事業目的

介護予防に資する地域での取り組み支援や、介護予防に関する知識向上、意識啓発を図る

○事業内容

市内全域に高齢者が容易に通える範囲に通いの場を展開し、住民主体で体操などを行いながら生活機能の向上や介護予防につなげる取り組みを支援する。

《導入支援》3回まで専門スタッフによる体操指導、住民主体での実施方法の検討、健康チェックの方法の指導を行う。

《継続支援》

・立ち上げから1年半までの団体

①開始から6か月ごとの体力測定

②いきいき講座（3回）：認知症予防、低栄養改善、口腔機能向上

・立ち上げから2年目以降の団体

①年1回の運動指導

②年1回のいきいき講座（内容選択制）

○実績

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
通いの場取り組み団体数(団体)	96	103	108	110	112	112
導入支援 実施回数(延)	45	21	16	6	6	6
継続支援 実施回数(延)	342	355	237	199	144	175

○事業決算額 4,482千円

2節 給料 2,502

3節 職員手当等 705

4節 共済費 507

10節 需用費 416 介護予防事業資料等消耗品

11節 役務費 51 郵送料

13節 使用料 301 自動車借り上げ料

4,482

令和 4 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
介護保険	03	03	03	434350	在宅医療介護連携推進事業

単位：千円

		前年度 決算額 (B)	当該年度 決算額 (A)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,796	1,055		△ 2,741
財 源 内 訳	国・県	2,192	609		△ 1,583
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,604	446		△ 1,158

※特定財源の内訳

地域支援事業交付金（国38.5%、県19.25%）

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいをもち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

地域包括ケアシステムの構築に向けて、在宅高齢者に対する医療と介護の切れ目のない円滑なサービス提供体制が重要であり、医療・介護関係者の多職種による連携体制の構築が求められている。

事業概要

○在宅医療介護連携推進事業 1,055千円

医療と介護の両方を必要とする高齢者に対し、在宅医療及び介護を一体的に提供するため、在宅における医療を提供する医療機関、介護サービス事業者その他の関係者の連携を推進することを目的とした業務を行う。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 長寿福祉課 担当課長 佐藤ひとみ

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○事業の目的

医療と介護の両方を必要とする高齢者に対し、在宅医療及び介護を一体的に提供するため、在宅における医療を提供する医療機関、介護サービス事業者その他の関係者の連携を推進することを目的とする。

○事業内容

(1) 在宅医療介護連携推進のための関係者会議

在宅医療と介護サービスを包括的かつ継続的に提供する体制構築に係る課題を共有・分析し、解決するための方策に係る事項を協議し、関係団体の自主活動を推進する。

①開催回数：6回

②構成団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、歯科衛生士会、総合花巻病院、花巻地区看護管理者会、介護支援専門員連絡協議会、ケアサービス事業所連絡協議会、県訪問看護ステーション協議会、岩手中部地域リハビリテーション広域支援センター、地域包括支援センター、ホームヘルパー協議会、市の実務者

(2) 在宅生活を支える多職種が集う会

医療と介護の連携機能の高度化や関係者のスキルアップを図るため、関係者間で情報交換や知識の共有を図りながら、地域の課題を解決していくための手法を検討する。

①対象者：医療介護関係者

②実施状況

年 度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
実施回数(回)	3	3	—	3	2
参加者数(人)	417	266	—	219	145

*令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

(3) 講演会

市民や地域の関係者が在宅医療と介護に関する現状や必要性を理解し、今後の在り方などに関心を深めるとともに、人生の最期の過ごし方について考える機会をする。

①対象者：一般市民、医療介護関係者

②実施状況：令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

年 度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
実施回数(回)	1	1	—	—	1
参加者数(人)	620	700	—	—	86

○事業決算額・・・1,055千円

7節 報償費	354	講師謝礼（研修会講師、会議謝礼）
10節 需用費	607	研修会および普及啓発用資料等消耗品費
11節 役務費	94	郵送料
1,055		

令和 4 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
介護	03	03	04	434400	生活支援体制整備事業

単位：千円

		前年度 決算額 (B)	当該年度 決算額 (A)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,373	2,622		△ 751
財 源 内 訳	国・県	1,948	1,514		△ 434
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,425	1,108		△ 317

※特定財源の内訳

地域支援事業交付金（国38.5%、県19.25%）

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

高齢者が健康で生きがいをもち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

介護保険改正に伴い、要支援1、2の方の通所介護予防、訪問介護予防サービスが、介護保険給付から地域支援事業へ移行したことから、地域における「生活支援」の提供体制の整備が求められている。

事業概要

- 生活支援コーディネーターの設置
地域課題の把握や分析、解決方法の検討や、地域住民・関係機関との地域ネットワークの構築など
- 生活支援ボランティア養成研修（生活支援の担い手となる住民ボランティアの養成）
- 生活支援体制づくり補助事業（地域団体が生活支援の事業を行う場合の事業立ち上げに関する補助）

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 長寿福祉課 担当課長 佐藤ひとみ

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

(1) 事業目的

高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療・介護サービスのみならず、多様な主体による多様な日常生活上の支援体制の充実、強化を図ることを目的とする。

(2) 事業概要

- ①生活支援コーディネーターの設置
地域課題の把握や分析、解決方法の検討や、地域住民・関係機関との地域ネットワークの構築など
- ②生活支援ボランティア養成研修（生活支援の担い手となる住民ボランティアの養成）
- ③生活支援体制づくり補助事業（地域団体が生活支援の事業を行う場合の事業立ち上げに関する補助）

(3) 利用状況・実績

①生活支援取組団体(地域団体)の実績の年次推移

	R2	R3	R4
補助金交付団体数	1	0	2
登録延べ団体数	10	10	12

③生活支援の利用者の年次推移

	R2	R3	R4
実利用者数	61	73	100
再掲 訪問型サービスA ※	19		
訪問型サービスB	42	73	100

②生活支援ボランティア養成研修受講延べ数

	R2	R3	R4
延べ受講者数	298	326	360

④生活支援の利用回数の年次推移

	R2	R3	R4
延べ利用回数	1,080	1,567	1,949
再掲 訪問型サービスA ※	631		
訪問型サービスB	449	1,567	1,949

※R2まで近サボは訪問型サービスAにおける生活支援。R3から近サボと訪問型サービスBを一本化

(4) 事業決算額 2,622千円

1節 報酬	1,835	
3節 職員手当等	157	
4節 共済費	303	
8節 旅費	41	研修等旅費
10節 需用費	39	
11節 役務費	47	郵便代
18節 補助金	200	生活支援ボランティア養成研修事業委託
		2,622